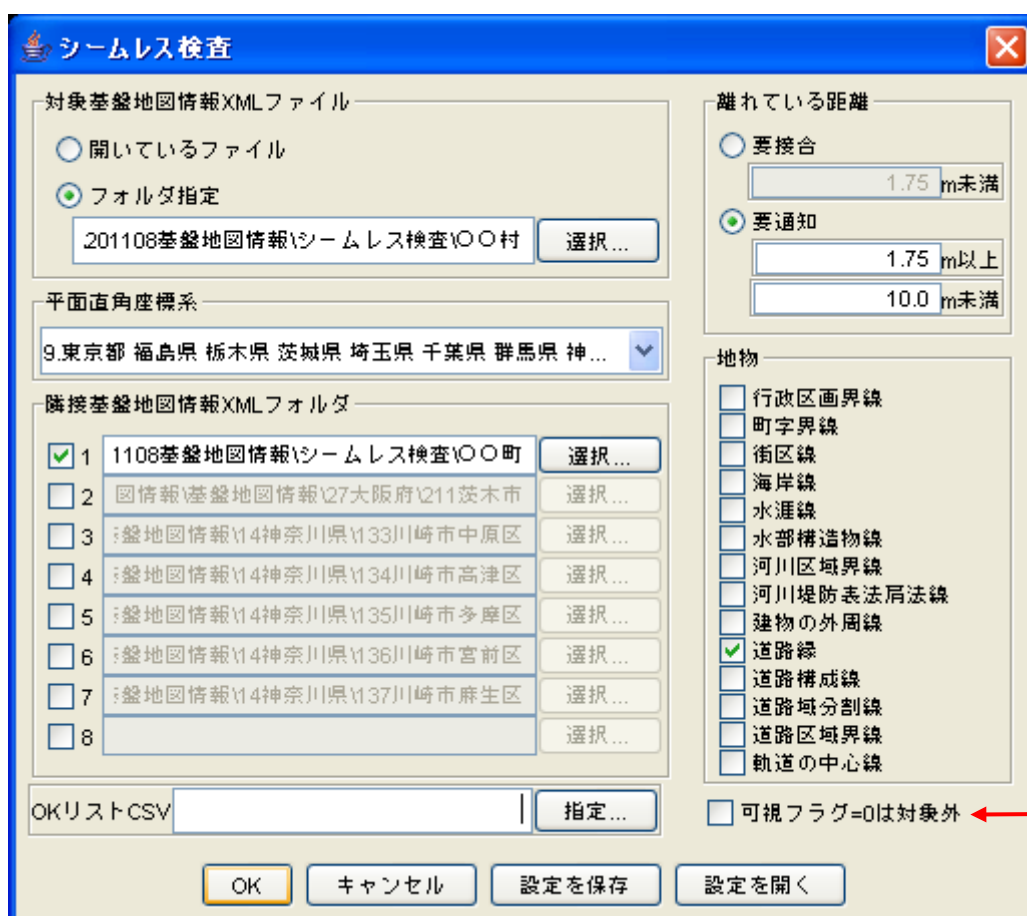


# 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.74 更新記録

2011/08/12  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. シームレス検査

メニュー[基盤地図情報]の[シームレス検査]で、隣接する地区の線(GM\_Curve)との重複はエラーとしていませんでしたが、エラーとして検出するようにしました。また、隣接する地区の線と線が交差する場合も検出するようにしました。また、オプション「可視フラグ=0は対象外」を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

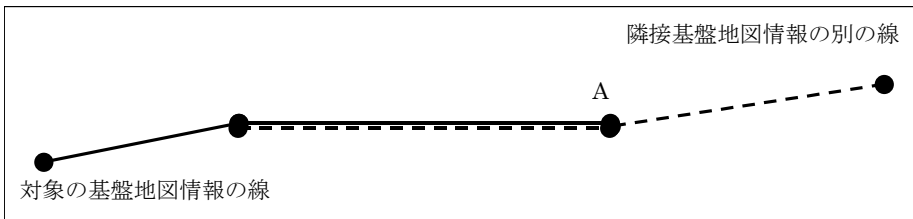


### 【可視フラグ=0は対象外】

対象と隣接のXMLについて、属性「可視フラグ」があり、値が「0」あるいは「false」の場合、この図形はチェックの対象外にします。

また、端点Aが隣接基盤地図情報の同じ地物の線(GM\_Curve)上にあっても、検査の対象外です。隣接する地域の線と一部重なっているケースです。

バージョン 6.0.74 から、隣接する地区の線(GM\_Curve)と重複する場合、リストアップします。



また、バージョン 6.0.74 から、隣接する地区の線(GM\_Curve)と交差する場合も検出します。

